

あまがみ堂

寝取られたいよわ
♡



爆乳お嬢様たちは
腔内射精で

体験版

あまがみ堂



それは
この俺…
尾崎一征が

おさきいつせい

この学校に教師として
赴任して数日が経った
日の事だった…





アホ?

好きです♡

尾崎先生——
いいえ…征さん♡

私ずっと…
ずっと貴方が
好きだったんです！



「征さんに恋人が
いらっしやるのは
知っています…」

ですが私…
どうしても
諦めきれなくて…


ずっとずっと
「征さんだけを
想ってきたんです♡



彼女は たかいきみか 高井君香
この学園の生徒会長だ

見ての通りの知的な美貌…
背はすらりと高く
長い脚はまるで
トップモデルのようだ





生徒会長を
務めるだけあつて
成績は常に校内トップ

その上スポーツも万能…
さらには人当たりも良く
人望も厚いという
まさに『完璧超人』だ

そして見事なまでの
巨乳——いや
爆乳オツパイ！

高々と服を押し上げ…
歩けばユツサユツサと
揺れるその大質量に…

男なら誰しも
目を奪われるコトは
間違いないだろう



だだだが…
問題なのは…

そう…その学園の
『超高め』の
美少女である彼女に…


俺が告白されていると
言う事だ!?



ほ 本来なら…
喜んで飛びつく
案件なんだろうが…

とはいえ…
彼女の想いに対し
素直に受け入れられない
事情があるのだ





そそれを言うのなら…
キミにだって婚約者が
居るハズじゃ…？

あつ あんなものは
形だけの婚約ですっ！

私はずっと
征さんだけを…
本当ですからっ！

貴方とごうして
再会したのは
運命なんです！

だから私
もう我慢できそうに
ありません……♡

ちよちよつと待てー！
いきなりそんな……
うわあっ!?





おっぱい

見て下さい…
私のおっぱいは♡
大きすぎて
恥ずかしいですけど…

そつ そんな事
しちゃダメだ！
それにここは
学校なんだぞ!?

なにやう



でも…いやでしか私…
「征さんに想いを
ぶつけられないんです

それに私
「征さんの為なら私…
何でもできますからっ♡

た 高井…

きゅ♡

きゅ♡





どんな事だつて
しますから…
本気なんです
大好きなんです♡

……

ま…まさか昔
家庭教師をしていた
君香に…
迫られるなんて!?

でも 本当に
綺麗になったな…
特に オツパイとか♡

♡♡♡

♡♡♡



き気持ちちは嬉しいけど…
やっぱり俺たちは
教師と教え子——

いいえ 本気で
愛し合う2人には
立場なんて
関係ありません！

私一征さんにだったら
全てを…見て下さい♡

き♡

き♡



ああ一征さんに
見てもらっていいよと
思うだけで…あん♡

キュン♡

乳首がもう
こんなにはしたなく
勃起 しちやうんです♡

すすぐい…
大きいのに…
すごく綺麗だ

ぴん

ぴん

嬉しい♡ 征さんに
そう言ってもらえるなんて…
ああ 幸せです♡

もっと見てください♪
近くで 触ってくださいも
いいですよっ…

ででも…
くっ俺は…

んんん

んんん

触つて下さらない
のですか？

「征さんのイジワル…
ああでも…」

はぁ…
はぁ…

ヤンキー

そうやって
乳首に熱い視線を
向けられているだけで
私…♡

んんん

んんん



あああん
見られてるだけで私…
ゾクゾクって…ああっ♡

はぁ…
はぁ…

ヤンキー

おおいっ
高井!?

その…大丈夫
なのか!?

んんん

んんん



はい…ちよつと
身体が熱くて
おマンコの奥が
疼くだけですから♡

はぁ…
はぁ…

ああヘンに
なりそうで…怖い

でも…こんな感じ
初めてですう♡

ヤンキー

んんん

んんん



ああダメえ♡
私い…私おかしいですう
絶対ヘンですう♡

はぁ♡

はぁ♡

「征さん ああっ
私どうしたら…
良いと思いますか?」

ど…どうしたらって…
こっちが聞きたい!?



「征さんに……こんなに
はしたない姿を
見られてしまうなんて……♡

はぁ♡

はぁ♡

恥ずかしいけれど…
すごく
興奮しちゃいます♡
あぁあ♡♡



お願い…
「征さん 女に恥
かかせないで下さい…」

ほお♡

ほお♡

ぐっ…高井—
いや 君香…
本当にいいの？

はいつ♡私の
初めてを捧げるなら…
「征さんしか居ないと…」

はぁ♡

はぁ♡

心からそう
決めていましたから…♡

き…君香…♡



ああ…ずっとずっと…
お慕い申しておりました♡

はぁ♡

はぁ♡

この身体…
貴方のお好きに
なさせて下さいませ♡

嬉しいよ 君香…



でも 婚約者の件は…
本当に良いのか？

はぁ♡
はぁ♡

ええ…以前は 何事も
無ければあの人と
結婚するのだろうか――

そう思つて
いましたが…

んんん

んんん



それも…貴方と
再会するまでの事です♡

はぁ♡
はぁ♡

けれど
貴方には恋人が…

告白することもなく
諦めていましたが…

んんん

んんん



判った…君香の
気持ち嬉しい

俺で良ければ
受け入れさせて――

はぁ♡
はぁ♡

あぁっ
嬉しい♡

んっ♡

んっ♡



ああ 君香…

はぁ♡
はぁ♡

では私の処女…
受け取って下さいませ♡

ん♡

ん♡



俺のそんな言葉に
君香は目を潤ませ…
うっとり微笑む

はぁ♡
はぁ♡


そんな彼女の魅力に俺は…
もはや抗いきれなく
なっていたのだった…

♡♡♡

♡♡♡







俺が君香と
知り合ったのは
数年前の事だった…

君香はすでに
成績優秀だったが
唯一の欠点が外国語で…

俺はその語学力を買われて
家庭教師をしていたのだ

当時…大学生だった俺は
エリーナという女性と
交際していた

エリーナは金髪碧眼の
外国人留学生で…

情熱的な彼女とは
すぐに仲良くなりすぐに
セックスする仲になった

そんなエリーナが
留学を終え
国に帰る事になった

俺は彼女の帰国に付き合
彼女の国に
留学を決めたのだった…

そして現地で2年ほどの
同棲生活を送るも…

思考・生活習慣などの
違いから破局——

俺は海外留学を終え
単身日本に
帰国したのだった

帰国後——しばらく
フラフラしていた所に…

かつて家庭教師をしていた
高井家に声を掛けられ

この学校の教師として
赴任する事になった



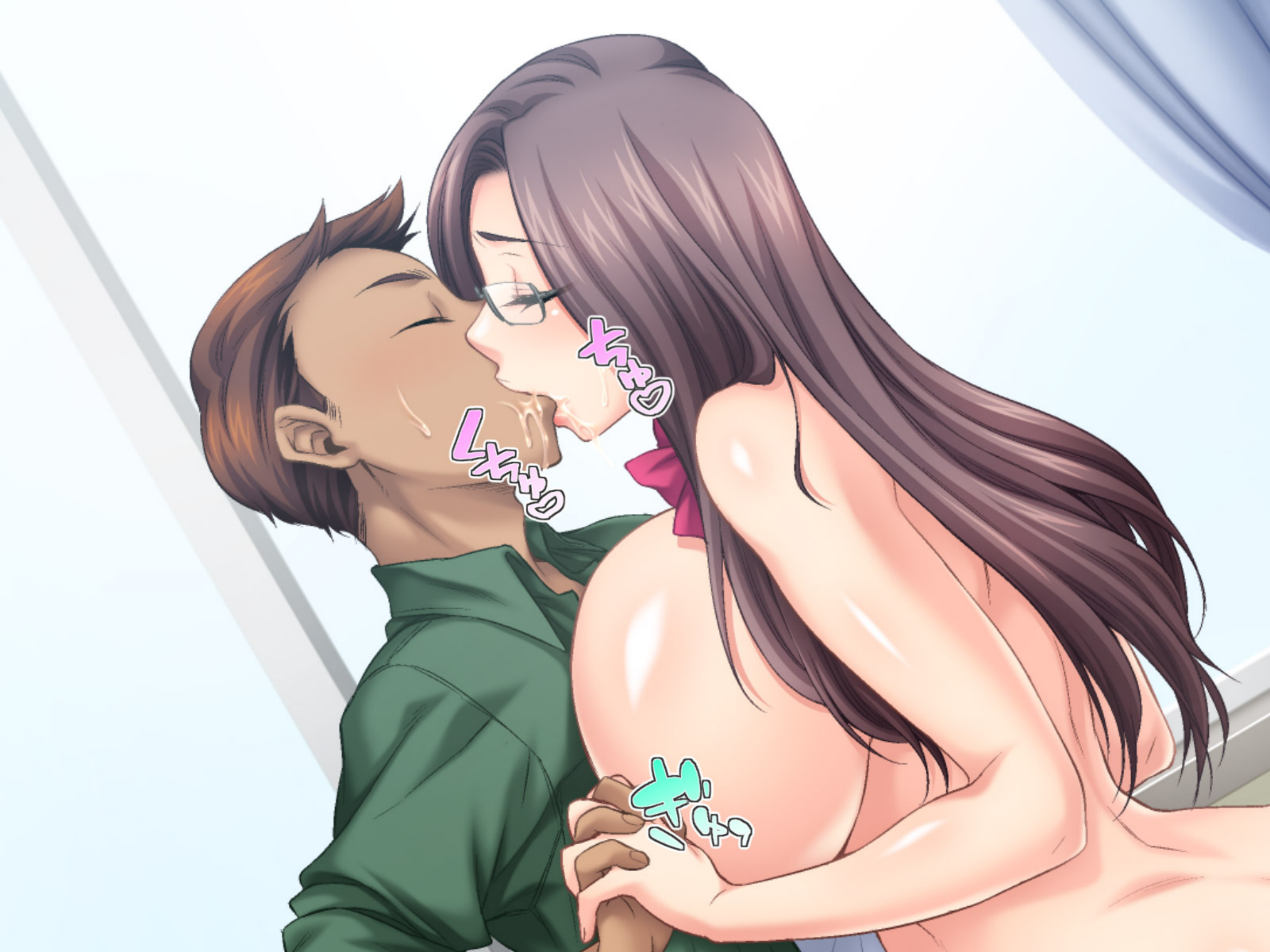
君香は美しく成長し
この学校の
生徒会長になっていた

そして——
君香との再会

そんな俺は
君香に請われるまま

生徒会の顧問に
なったのだが――





キッ
キッ

ぎゅ
ぎゅ

「征さん…♡
んちゅ♡ちゅ♡
気持ち…♡♡♡♡♡

ああ…幸せえ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡高井…
はあはあ…す♡い♡

もう「征さん」？！

名前で呼んで下さい…
君香っ♡

おっ

おっ

おっ

き…君香…
可愛いよちゅ

ちゅっ♡ ああ…
もつとキス して下さい♡
手も握って…？ ああん♡

おっぱいも
気持ち良かったけれど
…ああん♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡

ぎゅっ♡

キスはもつと…
気持ちいいです♡
はあん♡

君香のキスも
すごく情熱的だ...

ちゅ...でも 俺なんかで
本当によいのか? 君香...

ちゅっ…んちゅっ♡
はい 大好きです♡

世界で一番
愛しています♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡

ぎゅっ♡

君香…♡ 俺も
君香のコトが好きだよ

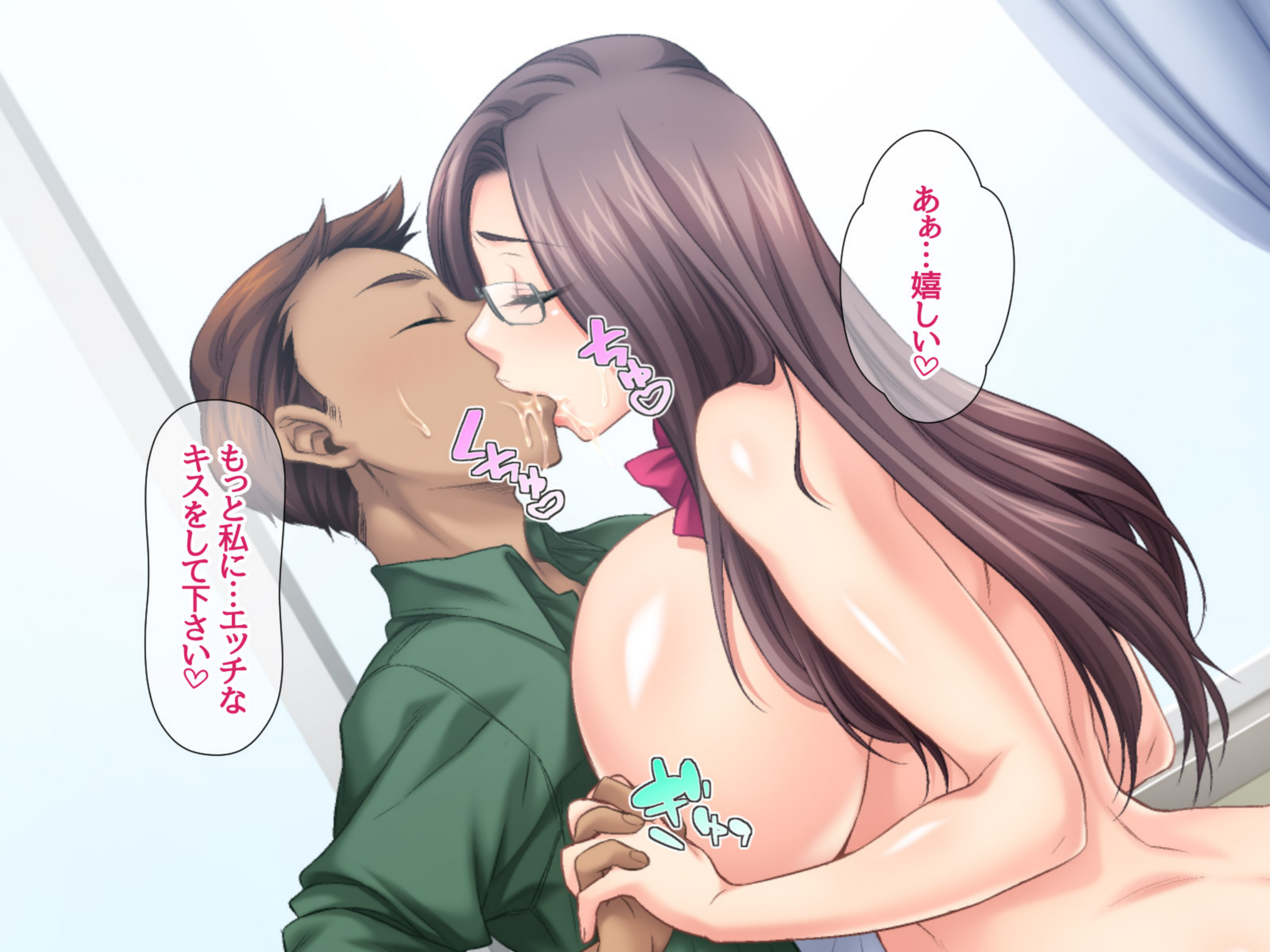
もっと私に…エッチな
キスをして下さい♡

しゃべり

しゃべり

ぎゅ

ああ…嬉しい♡



本当にすごいな
君香…

普段の真面目な
生徒会長ぶりとは
大違いだ…

ちゃの

しゃの

ぎゅ

くぅ…この身体に
本当に溺れて
しまいそうだ…

…あの
征さん

はしたない女だって…
思わないで下さいね？

ぐよ

きゃの

きゃの

えっ!?!
そんな口ト——

もしそんな風に
思われたら私…

泣いてしまいます…
ちゅっ♡

んっ

ちゅっ♡

しゅっ♡

ああ…君香
そんな風に恥じらう
君香も可愛いわ♡

嬉しい♡ちゅっ♡
「征さんの舌
美味しいですう

んちゅっ♡
お願いです「征さん
もっとして…あへん♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡

もっとな私を…
ああっ♡

君香は切なさうに
身体を押し付けてきた…

胸も身体も
すごく柔らかくて…
ああ 甘い匂いが…

ちゅ♡ちゅぱっ…ああ♡
もうこんなになつて…素敵♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ごいん

やだ嬉しい…♡
一征さんの♡
すごくなってます♡

仕方ないだろう？
君香のキスと甘い匂い…
たまらないんだ

ああ 嬉しい♡

私の身体で二征さんが…
喜んでくれてる♡

きゃっ♡

しゃっ♡

ごんごん

このおチンポ…
私で大きくして
くれてるんですよね？

それが私…
とても嬉しいんです♡

我ながら興奮しすぎて…
ズボンがキツイんだ

なら…君香の手で
外に出してくれるか？

キゅっ♡
しゅっ♡

ズボン

はい…♡ 征さんの
おっしゃる通り♡…♡

ちゃっ♡

しゃっ♡

どいん♡

君香がおっかなびつくり
ファスナーを下ろすと…

フル勃起した俺のチンポが
飛び出すようにこぼれ出た

ああ……これが
「征さんのおチンポ……♡

ぽろぽろ

すごい
こんなに大きく♡
んちゅちゅ♡

ああ♡
「征さん もう私
キスだけじゃ……

あぁっ もうダメ…
我慢できそうに
ありません♡

だから
愛して欲しいんです…
一征さんのおチンポで♡

…本当にいいのか？

ギュー

ギュー

初めて…
なんだろう？
君香…

構いません♡
後悔なんて
絶対にしません！

私…こんな日が
来るのをずっと
夢見ていましたから♡

きゃっ♡

しゃっ♡

びゅん

ぎゅー

ぎゅー



私の全てを
捧げます…

だから
受け取って下さい
征さん♡

きゃっ♡

しゃっ♡

びゅん

ぎゅん

ぎゅん

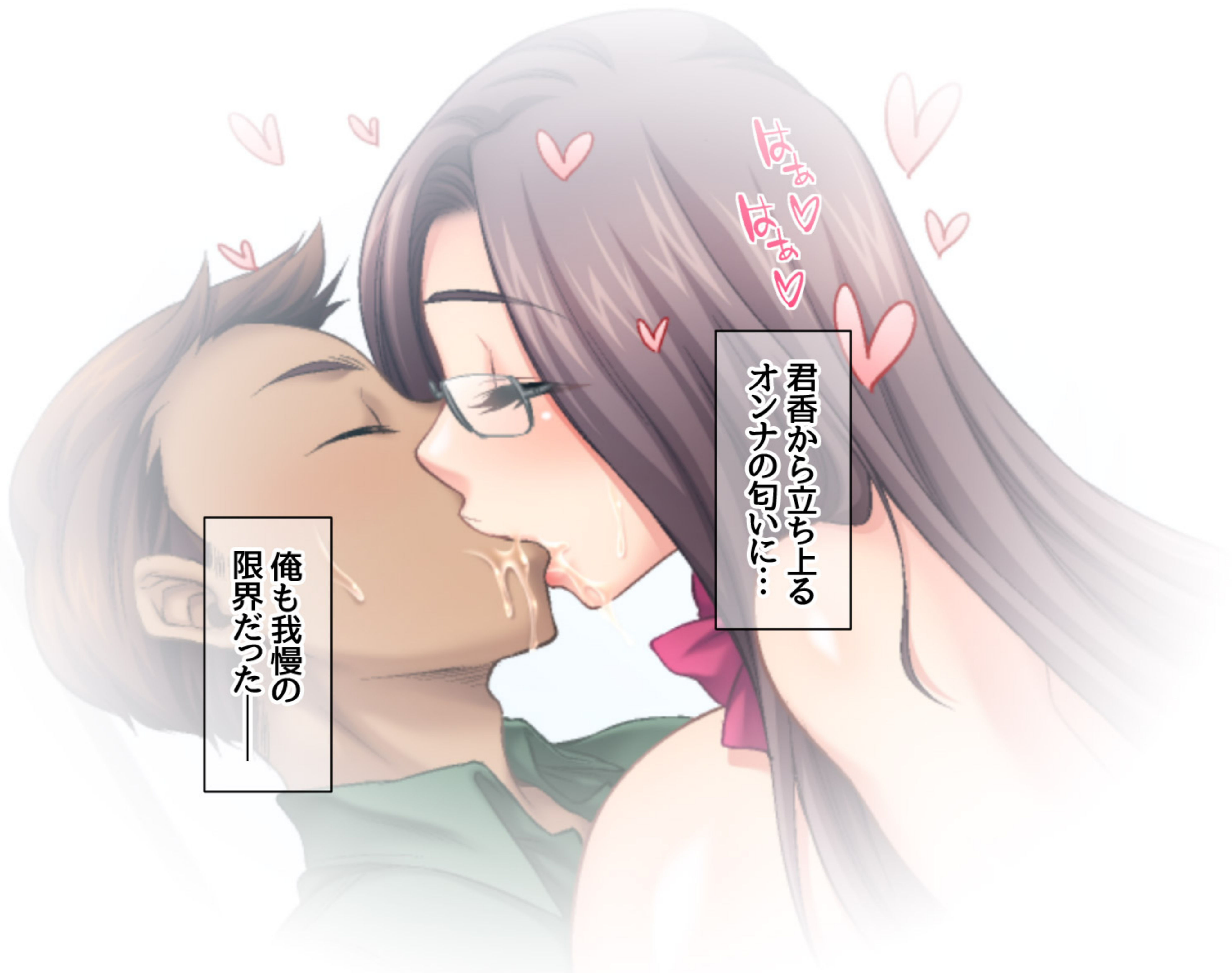
君香…わかった
キミがそこまで言うのなら
俺は…



嬉しい…♡
ああ一征さん♡

はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡

私…女に生まれて
本当に良かったです…♡



俺も我慢の
限界だった——

君香から立ち上る
オシナの匂いに...

はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡

数日後





ん...?

ちよつと...
そこのアンタ!

俺が振り返ると…
そこには派手な
ツインテールのギャル…
瑞江亜弥がいた

ギャルに馴れ馴れしく
声を掛けられるのには
すっかり慣れたが…
彼女と話すのは初めてだな



こらこら
アンタじゃないだろ…
先生と呼べよな？

はあ？
アンタ…ワタシが
誰だか知ってるの？

…瑞江だろ？ 授業は
受け持っていないが…
有名人だしな



ふうん…
知ってて言ってるんだ？
いー度胸じゃん

つて…あのオンナに
庇って貰おうって
コンタン？

あの女…？



はあ?…生徒会の
あの老け顔オンナよっ

アンタ…どーやって
アイツに取り入ったか
知らないケド…
調子に乗らないコトねっ

調子にもなにも…
庇ってもらおう要素が
どこにもないんだが…?



ふんっ まーいーわ
ちよつと
カオ貸しなさいよ？

おいおい 仮にも
教師に向かつて
なんて口の利き方を――

いいから早く――！



うおっ!?

俺はそんな亜弥に
腕を引っ張られ近くの
教室に押し込まれる

どうやら使っていない
教室らしく
生徒の私物などは
いつさい無かった

なんなんだ…
いつたい—

アンタあのオンナと…
ヤツてるでしょ？

な…いきなり
何をいつて…



ふんっ
その慌てっぷり…
やっぱりね

ワタシ…知ってるのよ？
アンタとあのオンナが…
放課後の保健室で
ヤッてるコト♪

……



おちつけ俺…
亜弥はいま
『やっぱりね』と言った

それは証拠が無く
カマ掛けである
可能性が高い…

…やけに自信が
あるようだが…それこそ
言いがかりじゃないか？



ふんっ 証拠でも
出せってゆーの？

…あるのか？

まないけどね〜

無いのかよ!?



ワタシはただ…
アンタとあのオンナが
仲良く保健室から
出てきた後——

部屋の中に残ってた
その匂いで…
気付いただけよw

しまった…
シーツこそ取り替えたが
換気が不十分だったか…



あらあ？ またダンマリ？
ふふんっ ま…いーわ
それこそ
証拠なんて無いんだし

アンタがあのおンナに
利用されてるってコトが
わかっただけで
じゅーぶんよw

…利用 だつて？



ええ あのオンナにはね
ファイアンセがいるの
家同士が決めた…ね

だからどうせ…
アンタとは遊びW
というか…

カラダをエサに
手駒にされてんのが…
わかんないの？ アンタW



…そそれこそ
言いがかりで——

ハイハイ…ええ
証拠なんかはないわよ

ああ…つてゆーか
ワタシ…アンタを
脅してなんか
ないわよ？

…は？
じゃあ——



ワタシはね…アンタを
奪ってやろうとしてるだけ
あのオンナから…ねw

なん…だと？

ハッキリ言うわ アンタ…
あのオンナを見切って
ワタシのモノになりなさい！



ハイハイ
またダンマリねW

.....

んじゃ...コレでも
黙っていられるかしら??





Billboard

なっ!?

んんん♡ふもっ♡
美味しそおでこよっ♡

アハハハ♡

ワタシのモノに
なるってゆーなら…
このカラダ
好きにしているのよっ?

そそれこそ…
瑞江には 婚約者が
居るんじゃないのか？

あら…そんなコトまで
知ってるの？
ええ…いるわよ？
それがどうしたの？

そもそもセックスなんて
タダのスキンシップ…
ご褒美みたいな
モンじゃない

…は？



ま…バージンなんか
早く捨てたかったから…
さっさとダーリンに
やらせてあげたケド…

別にたいして
キモチよくないし…
ただ痛いだけだったわ

ま…それでもダーリンは
ワタシとヤレて
大喜びしてるわねW

だから…ワタシの機嫌を
上手に取れたときだけ…
ご褒美として
やらせてあげてるの♡



だからあ…アンタにも
ご褒美として
やらせてあげても
いいのよ?

.....

もちろんあのオンナを
見切ったら———だけどねW

ニヤ...

たろ

たろん



.....

ほらほらも♡
黙ってないで
何とか言ったらどうも？



ワタシのモノになれば…
このカラダ
好きにできるのよ？

ふう…強情ねえ
なら…手付けに
オツパイくらいは
揉ませてあげる♡

どお? あのオシナの
タレチチとはゼンゼン違う
このハリのある—
きやあんっ!?

ニヤ…

たろ

たろん



俺は…
そんな亜弥のオツパイを
両手で揉みしだっていた

ておっ

まにゃう

ておっ

そのオツパイは…
自慢するだけあって
まさに極上の
オツパイだった!?

むにゅ

なん…だと…?

あーっ きゅ
急に揉んだりして…
ビックリしたじゃない!?

あああ…スマン
でも…このオツパイは…
スゴいな

思わず…無我夢中で
揉みしだいてしまう…
それほどに
素晴らしいオツパイだ♡

むっ
むっ

むっ
むっ

あーっ♡
あーっ♡

そんな極上オツパイに
俺が無我夢中に
なっているよ——

ん…♡そそおでしよお？
あ…あのオナナのは…
ゼンゼン違うでしょう？

あああ…比べれば
大きすぎ…そ控えめだが…
それでもこの両手に
収まらないボリューム…

おっぱい

おっぱい

あ…♡
あ…♡

シミひとつ無いスベスベの肌…
そして指が吸いつく様な
なめらかな肌触り…

さらに適度なハリと
柔らかさをもち…
ツンと上を向いた
ピンク色の綺麗な乳首…
か完璧すぎるっ

あーっ♡
あーっ♡

むっ♡

むっ♡

そそうなんだ…？

あ 危なかつた…
君香のオツパイに
慣れていなければ…
一撃で虜になる所だつた…

思わず俺の手に
力が入る…

んっい
痛いってばあ…

んっい

おっぱい
おっぱい

びんぎ

びんぎ

おつとついいい...
力が入りすぎて
強く揉んでしまった様だ

すスマン...

ももお...
気を付けてよねっ
まったく...
これだからオトコって...

ふむ...?

はあ♡
はあ♡

むにゅ

むにゅ



どうやら亜弥は
セックスそのものに
良い印象がない様子…

なら… 大人のオトコの
テクってものを
味あわせてやらないと…なる♡

ももおいごじごよん…
わかったら…
ワタシのモノに
♡んも♡

はあ♡
はあ♡
はあ♡

はあ♡

はあ♡

んんっ
なナニコレ…キモチ
いい♡んひっ♡

ほあ♡

ほあ♡

その時…亜弥が初めて
甘い声を漏らす

やはり…コレはいままで
ロクな愛撫を
されてないな？

すっ

すっ



かくいう俺も…
元カノのエリーナとの
つきあい始めの頃は…
ヒドいものだった

そしてエリーナは
ハキハキとモノを言い
かつメイククラブに強い
こだわりの持つ欧米人だ

おかげでそのあたりの
テクニクはイヤという程
叩き込まれている…



そもそも男は
オツパイを見ると…つい
揉みしだいてしまうが…

それは実は悪手だ…
オツパイは乱暴に
揉んでは痛いだけ

むしろ…ごく軽い
フェザータッチが有効だ

ほあ♡

ほあ♡

す

す



そもそもオツパイは
かなりの自重がある

それを支える為に
乳房の乳首から上の部分は
皮膚が常に
『張っている』状態なので…

乱暴に揉んだりすると
痛みを感じることも
多いのだ

特に亜弥や君香の様な
巨乳・爆乳は…その重量も
ハンパないからな♡



手のひらを用い
触れるか触れないか…
程度の距離で
乳房を責める

はいはい
お望みのままに♡

ややあん♡ イイ…コレ
キモチいいよお♡
んあ♡ もも♡お♡

はあ♡

はあ♡

す♡

す♡



んんん
じじらねなごじら
ああ…ちくび
勃つちやうじうじ
♡♡♡

はあ♡

はあ♡

むしろ…亜弥の方から
胸を反らし…
乳首を手のひらに
押しつけてくる

とは…
強い刺激は厳禁だ…
あくまで…
焦らすに限る♡

す♡

す♡

だから…乳首の周囲を
円を描く様にクルクルと…

乳輪まで行ったら
折り返し…あえて
乳首には触れない♡

んあああ♡
いイジワルう♡
でもお…イイ♡
キモチいいのお♡

よしよし…だいぶ
焦れてきたな♡

はあ♡

はあ♡

す♡

す♡

そうしたら…
いよいよ
乳首を愛撫する

ココもあくまでソフトに…
いきなり先端には触れず…
勃起した乳首の側面から
じつくりと責める

そして十分に
感じて来たら—

あ…
あッ♡

んっ

んっ



あぁあぁあぁ

んんんんんん
んんんんんん
んんんんんん

んんんんんん
んんんんんん
んんんんんん

なんと…
先端に触れた途端に
イクとは…

あ♡
あ♡
あ♡

ビビ
ク
ニ
ニ
ニ

このポリウムでこの感度…
やはり亜弥のオツパイは
最上のオツパイなのだろう♡



はあっ♡ はあっ♡
な…なによコレえ…
こんなの初めて
—きやつ!?

はあっ♡
はあっ♡

きやつ

きやつ

きやつ

きやつ



もちろん…
俺にオツパイだけで
終わらせる気は無い

このナマイキな娘には…
キツイお仕置きを
してやらないと…な♡

爆乳お嬢様たちは
膣内射精で
寝取られたいようです♡

ああ そうだ
俺のチンポもザーメンもっ
全部…君香のモノだっ

じゅぶぶぶつ♡
ああ…美味しい♡
愛しい人のおチンポが…
こんなにも
美味しいなんて…♡

愛しくて…美味しくて…
全て吸い込んでしまいたい
衝動が…止まりません♡
ぶぶぶつ

んんん

んんん

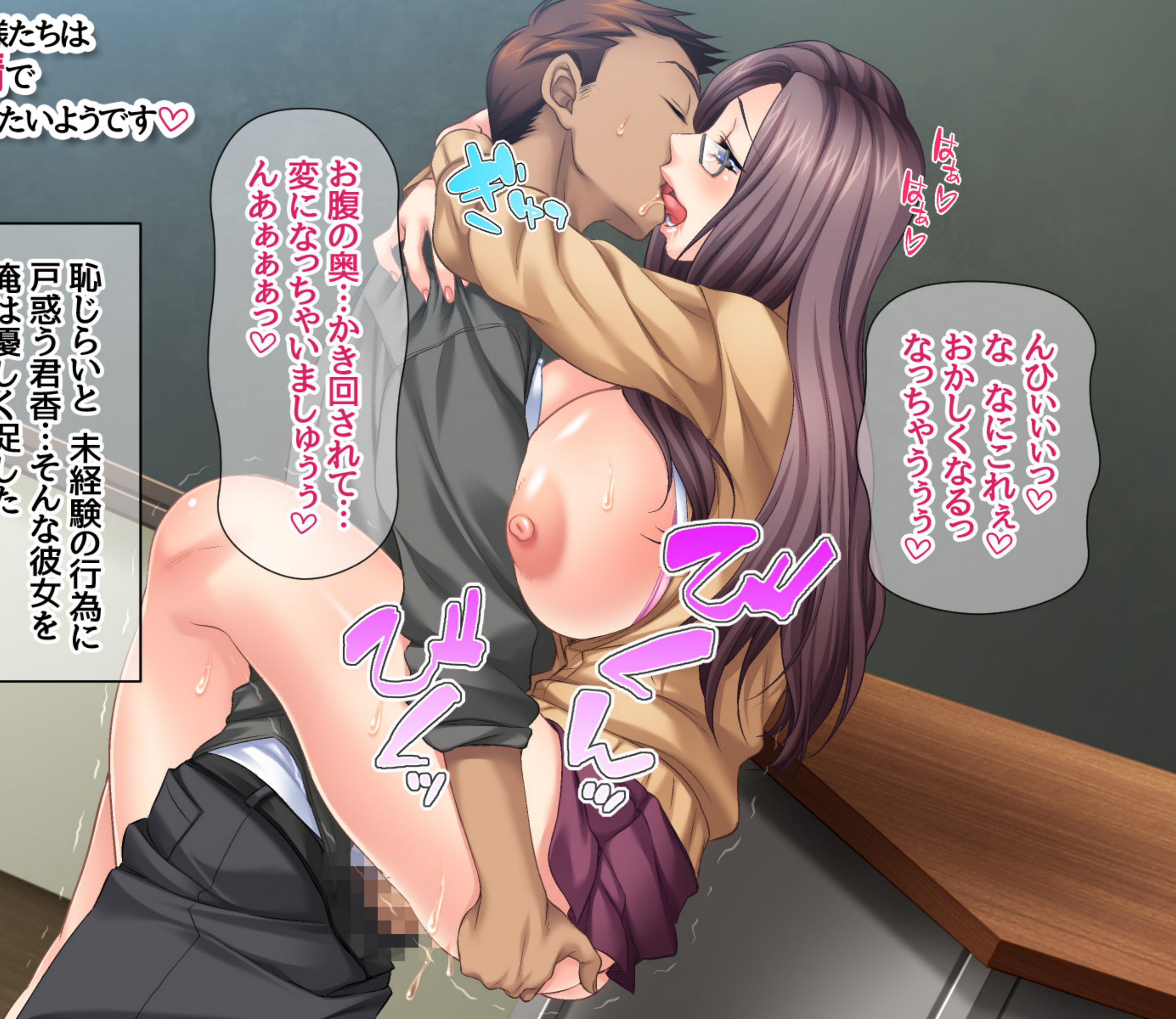
んんん

爆乳お嬢様たちは
膣内射精で
寝取られたいようです♡

恥じらいと 未経験の行為に
戸惑う君香…そんな彼女を
俺は優しく促した

お腹の奥…かき回されて…
変になっちゃいました♡
んあああ♡

んひひひ♡
ななにいわえ♡
おかしくなる♡
なつちやう♡



爆乳お嬢様たちは
膣内射精で
寝取られたいようです♡

しかしその目は
俺を見つめ
こう言っている——

無我夢中で乳首を吸い
揉みまくる俺に…君香は
必死に声を出すのを
堪えている様だ

『おいたはダメよ？
貴方以外に
私のエッチな声を…
聞かせてもいいの？』…と♡



はぁ♡
はぁ♡

いい…イイのお♡
もっとお♡
もっとお♡
しでくださあ♡
ん…ひい♡

君香っ

両手両脚で俺を
がっちりとだいしゆき
ホールドする君香♡

ぎゅっ
ぎゅっ

ぎゅっ
ぎゅっ

それは明らかに
膣内イキ—
ポルチオアクメを
ねだるポーズだった

爆乳お嬢様たちは
膣内射精で
寝取られたいようです♡

ソフソフ♡

感謝しなさいよねっ
カレにもしたゴトない
パイズリで…

キモチよくして
あげてるんだからっ
んしょ♡

くうくう!!?
は初めてで…この
キモチよさだど!?

ずりずり

ずりずり

爆乳お嬢様たちは
膣内射精で
寝取られたいようです♡

ああの時は…いきなり
ナマでハメられて
思わず気が
動転しちゃったけど…

こうして
ゴムさえ付けてれば…
アンタなんか
瞬殺なんだからね!?

爆乳お嬢様たちは
膣内射精で
寝取られたいようです♡

ひりり...
ひあああああ!!!

ひん
ひん
ひん

ひん

ひん

ズンズンズン

爆乳お嬢様たちは
膣内射精で
寝取られたいようです♡

くっ…お尻の
穴だなんて…本当に
気持ちいいんですか？

最高ね♡ あもちろん
オマンコもキモチいいケド…
最近はもうダンゼンお尻ね♡

まあ…
そんなごくりっ

んんん…

おまんこ

おまんこ

ちゅ♡

爆乳お嬢様たちは
膣内射精で
寝取られたいようです♡

爆乳お嬢様たちは

あなたの精子で♡

腔内射精で

孕ませてください♡

寝取られたら

よからず♡

原画:阿川椋

シナリオ:身から出た鯖

基本画像21枚+立ち絵20体
差分を含め 総CG枚数808枚